

2017年4月13日

各位

株式会社 三井住友銀行

マレーシアへの投資促進に関する取組強化について

株式会社三井住友銀行（頭取：高島 誠）と、全額出資子会社であるマレーシア三井住友銀行（社長：郡司 義美）は、2017年4月12日付でマレーシア投資開発庁（Malaysian Investment Development Authority、以下、MIDA）と、また2017年4月13日付で Invest KL と、日本からマレーシアへの投資促進に関する業務提携の覚書を締結しました。

現在、マレーシアは2020年の先進国入りを目指し労働集約型から高付加価値型への産業構造の転換を図っています。従来から製造業を中心に、多数の日系企業が進出しておりますが、今後は製造業に加えてサービス業など多種多様な業態の進出も見込まれます。

また、日本とマレーシアは本年、外交関係樹立60周年を迎え、今後両国間の友好関係が更に発展することが期待されています。

このような中、当行は、マレーシアへの外国投資を促進する同国政府機関である MIDA 及び Invest KL と覚書を締結するに至りました。この度の業務提携により、両機関との協力関係を強化し、日系企業のマレーシアへの進出・投資に関する情報提供の拡充や投資セミナーの共同開催等を通じて、マレーシアへの進出をご検討されているお客さまへの支援をより一層充実してまいります。

（ご参考）MIDA、インベスト KL の概要

名称	MIDA Malaysian Investment Development Authority (マレーシア投資開発庁)	Invest KL (インベスト KL)
設立	1967年	2011年
所在地	MIDA Sentral No.5, Jalan Stesen Sentral 5 Kuala Lumpur Sentral 50470 Kuala Lumpur Malaysia	16th Floor, Menara SSM@Sentral No.7, Jalan Stesen Sentral 5 Kuala Lumpur Sentral 50623 Kuala Lumpur Malaysia
概要	国際通商産業省傘下の政府機関として設立されたマレーシア国内の工業発展、および投資促進を担っている機関。製造業・サービス業の製造ライセンス、税制優遇措置等の申請に係る認可権限を保有。	グレーターKL（首都クアラルンプールと隣接する都市で構成されるクランバレー首都圏）への投資を図る企業に対し、認可取得プロセスのサポートを目的に設立された国際通商産業省傘下の政府機関。

以 上